
資料 4 - 2

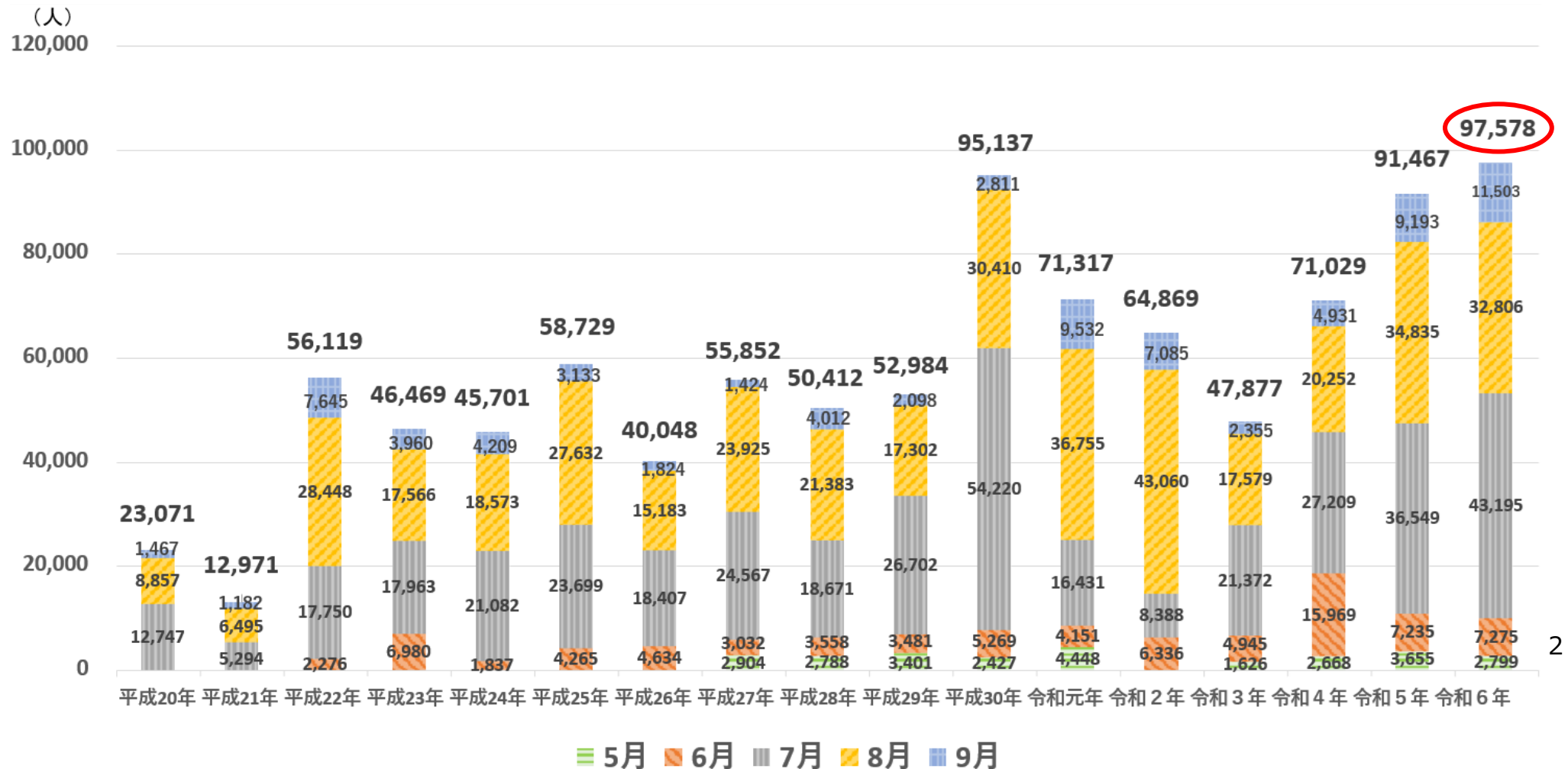
熱中症による救急搬送状況（総務省消防庁）

令和 7 年 6 月 18 日
熱中症対策推進会議



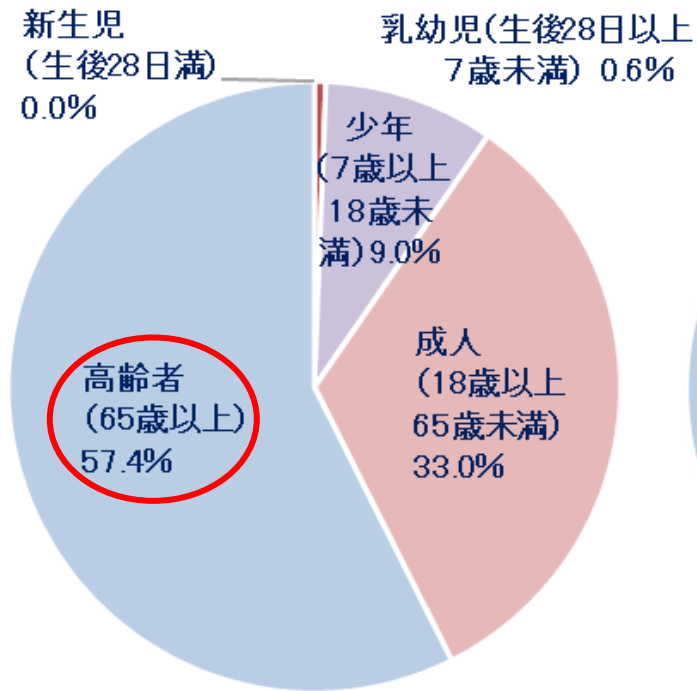
熱中症による救急搬送人員の推移

- 令和6年5月から9月の全国における熱中症による救急搬送人員の累計は97,578人と、調査を開始した平成20年以降で最多の搬送人員となった。
- 令和7年5月1日から6月15日までの熱中症による救急搬送人員の累計は4,799人（速報値）となっており、令和6年の同時期の累計と比べて1,064人減少している。
- 今年の夏も全国的に平年より高い気温になることが予想されているため、昨年に引き続き、熱中症による救急搬送人員が多く発生することが懸念される。

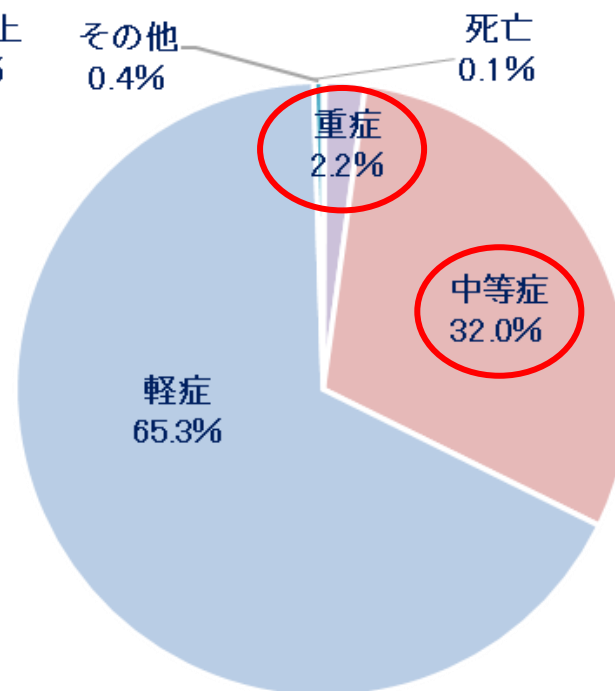


- 年齢区分別では高齢者が全体の6割近く
- 傷病程度別では入院が必要（中等症・重症）が約3割
- 発生場所別では住居（敷地内全てを含む）が最も多く、以下道路、屋外の公衆の場所

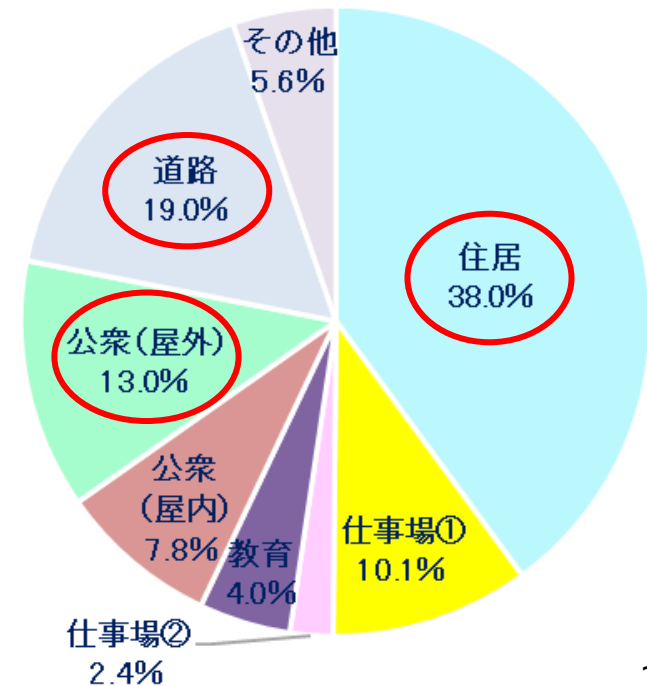
【年齢区分別】



【初診時における傷病程度別】



【発生場所別】



※仕事場①：道路工事現場、工場、作業所等 仕事場②：田畑・森林、海・川等（農・林・畜・水産作業を行っている場合のみ）

※端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

消防庁における熱中症への対応

- 消防庁では、熱中症対策実行計画に基づき、熱中症による救急搬送人員を消防庁ホームページで公表するとともに、熱中症予防に向けた普及啓発及び情報提供を実施
- 令和7年は都道府県や消防本部に対して通知を发出し、以下6点を依頼
 - 住民に対する早期の熱中症予防啓発の実施
 - 消防庁ホームページ掲載の予防啓発コンテンツの活用
 - 予備車等を活用した出動体制の確保及び住民への救急車の適時・適切な利用の呼びかけ
 - 熱中症特別警戒情報発表時の効果的な普及啓発や注意喚起の実施
 - 予防啓発ポスター及びSNSを活用した広報の実施
 - 官民連携による効果的な取組みの推進

《消防庁からの情報発信》

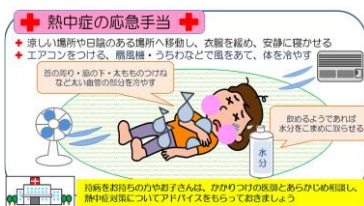
熱中症による救急搬送状況の公表



消防庁 X による情報発信



熱中症リーフレットの作成



《予防啓発コンテンツの活用》

全国消防イメージキャラクター「消太」を活用した、
動画での広報



消防マスコット「消太」
を使用したイラスト



予防広報メッセージ

メッセージ内容	日本語	英語	中国語	韓国語
こちらは消防署です。7月は熱中症予防強化月間です。熱中症の予防には、「水分補給」が大切です！喉の乾きを感じる前に、こまめな水分補給を行いましょ！特に、高齢者の方は、暑さを感じにくく、室内でも熱中症になることもあるので十分注意しましょう！	[通常] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード [冒頭なしVer] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード	[通常] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード [冒頭なしVer] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード	[通常] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード [冒頭なしVer] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード	[通常] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード [冒頭なしVer] ▶ 視聴 ▶ ダウンロード

ポスター（R7）



《予防啓発取組みの紹介》

熱中症予防啓発
取組事例集

取組事例の一例

宮古島市消防本部
【ケーブルテレビによる、熱中症予防啓発動画配信】



《救急車利用ガイドを多言語化》

（16言語：英語、中国語（繁・簡）、韓国語、タイ語、フランス語、イタリア語、ベトナム語、タガログ語、ポルトガル語、ネパール語、インドネシア語、スペイン語、ビルマ語、クメール語、モンゴル語）



英語版